

広報 しろいし

No. 517

蔵王山火山防災マップが作成されました…②～③ 男女共同参画社会推進条例が制定・施行されました④～⑤
住民基本台帳ネットワークシステムが整備されます⑥～⑦ まちかどズームインほか…⑧～⑪
くらし百科ほか…⑫～⑮ 募集・お知らせほか…⑯～㉓

2002 8



450人のテープカット！～白石蔵王駅開業20周年～

6月23日、20年前のこの日に東北新幹線白石蔵王駅が開業したことにちなみ、同駅で「20歳(ハタチ)の出発(たびだち)」と銘打って記念の催しが行われました。

記念のテープカットには、「孫が生まれて20年」「家を新築して20年」など、20年に何らかの思い出をもった450人が参加して、壮観なテープカットとなりました。このほか、保育園児や小中高校生の皆さんによる踊りや演奏をはじめ市消防団によるはしご乗りなど、多彩な催しが繰り広げられ、大勢の人々が開業20周年を祝いました。



チビッコ 小さな展覧会 美術館



「かたつむりといっしょ」



さやか
片平 沙也香さん
(深谷小・1年)



トコロ おもしろい 白石の人

このたび、自ら飼育して繁殖させた「カブトムシ」を市に百数十匹プレゼントされたのは、郡山で林業を営む村井八郎さんです。

市では、カブトムシを各保育園や幼稚園、児童館に十数匹ずつ分けて飼うことにしました。初めはカブトムシを怖がっている園児もいましたが、慣れてくると手にのせたり、えさをやったりと、すっかり園の人気者になっています。

カブトムシを飼育するきっかけは? 「私は、電線の支障になった木の枝を取り除く仕事をしていましたが、切った枝をただ処分するのではなく、有効活用できないかと考え、3年前からカブトムシの飼育を始めました。」

繁殖法は? 「切った枝と、枝をおがくずにしたものを半々にして、近くの山に積み上げて置いてあります。1匹2匹とカブトムシを捕ってきて、そこで飼っていたら年ごとに増えていきました。自然の木の枝を使い、自然の場所で飼育しないとカブトムシは繁殖しないようです。また、カラスに食べられないようにネットを張って管理しています。」

木の枝やおがくずは、腐れて肥料になり、近くの農家の方などに差し上げて、さらに有効活用しているそうです。

園児のみなさんに! 「来年は、いっぱい 増やして今年の倍ぐらいプレゼントしたい」と考えています。また、カブトムシを実際に掘って捕まえる体験も考えています。」

園児のみなさん、まちで村井さんに会ったら、「カブトムシのおじさん!」とぜひ声をかけてあげてください。



わが家のアイドル



かい
佐々木 海くん

(東町)

伸さん、富美子さんご夫婦の長男
ママからひとこと
みんなに好かれる海くんになってね♥
パパからひとこと
元気にたくましく育ててね♥

8月の定例相談会 (例: ㊟1…市役所1階)

人権擁護	19	10:00~15:00	第2会議室	㊟2
行政	19	10:00~15:00	第2会議室	㊟2
社会保険	15	9:30~15:00	第3会議室	㊟3
消費生活	毎週月・水・金	9:00~16:00	いきいきプラザ	
補聴器巡回サービス	リオン8・21 ワイディックス27	13:00~14:00	東側和室	㊟1
無料法律	19	10:00~15:00	第4会議室	㊟4
障害者	14・28	13:00~15:00	福祉プラザやまぶき	
青少年	毎週月・火・木・金	8:30~16:30	青少年相談センター	㊟4
農家	9	10:00~12:00	農林振興センター	
家庭児童	毎週月・火・木・金	8:30~16:00	総合福祉センター	

※母子・寡婦相談は定例相談日を設けず、随時仙南保健福祉事務所(☎0224-53-3132)で相談を受け付けることになりました。

※生活相談は、定例相談日を設けず、随時白石市社会福祉協議会(☎22-5210)で相談を受け付けることになりました。

市の木	市の花	市の鳥
ブナ	ヤマブキ	ウグイス